

【作り方説明書】

一重太鼓帯

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40cm ソフビ ・45cm ソフビ ・58cm ソフビ M,L,LL <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>【イージー】/ノーマル/ハード/ハード↑/エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.75mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通～やや厚手の生地 ・接着芯 ・帯締め用の紐 2 本 ・面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①一重太鼓 1 枚→そのまま 1 枚</p> <p>②帯本体 1 枚→ //</p> <p>③帯揚げ 1 枚→ //</p> <p>合計：3 枚 のパーツで構成</p>
<p>■必要な布量参考数値</p> <p style="text-align: center;">【一重太鼓帯の型紙 40cm】</p> <p style="text-align: center;">横90cm, 110cm, 140cm</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> </div>	

【一重太鼓帯の型紙 45cm】

横90cm, 110cm, 140cm



【一重太鼓帯の型紙 58cm】

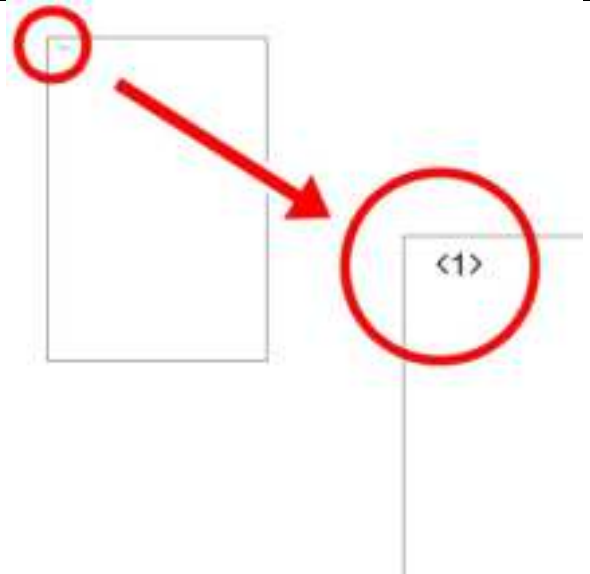
横90cm, 110cm, 140cm



01. 型紙を貼り合わせる

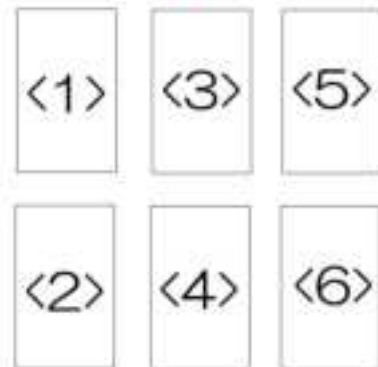
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
 ※①～⑤の右図は全型紙共通で
 使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる
 枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については
 各型紙をご覧ください。〕

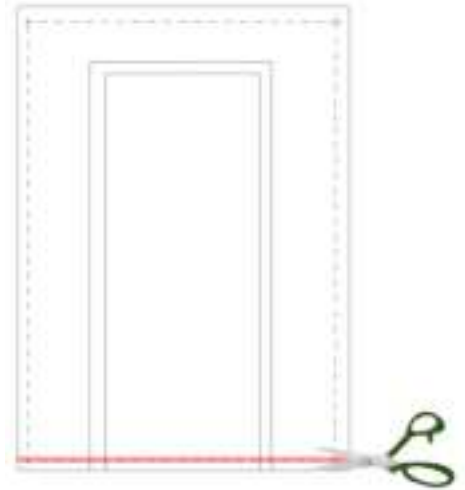


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を
 並べる。

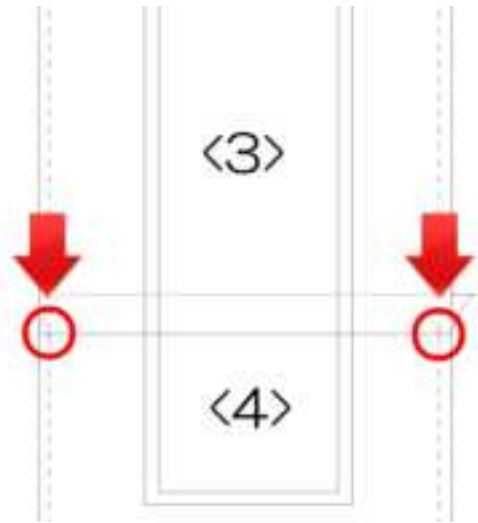
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」
 という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

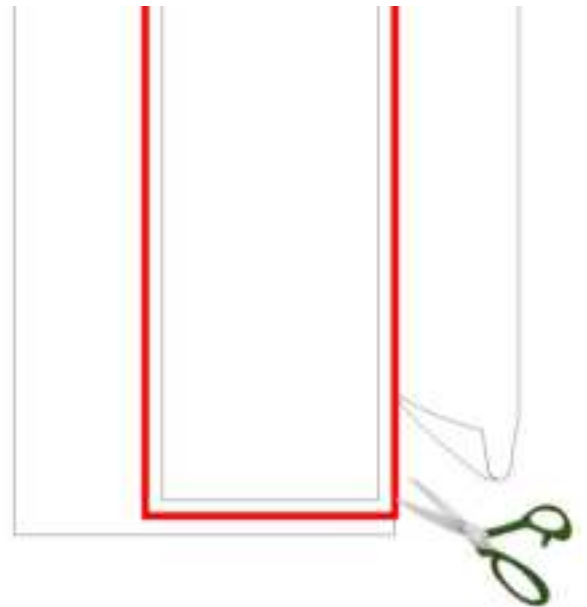


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



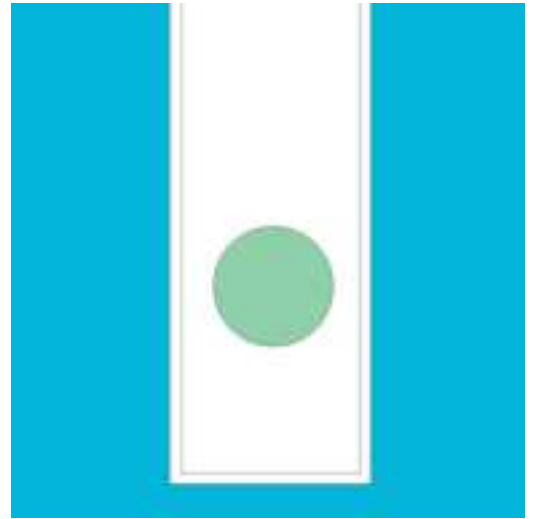
02. 型紙を切り取る。

〔 02～07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



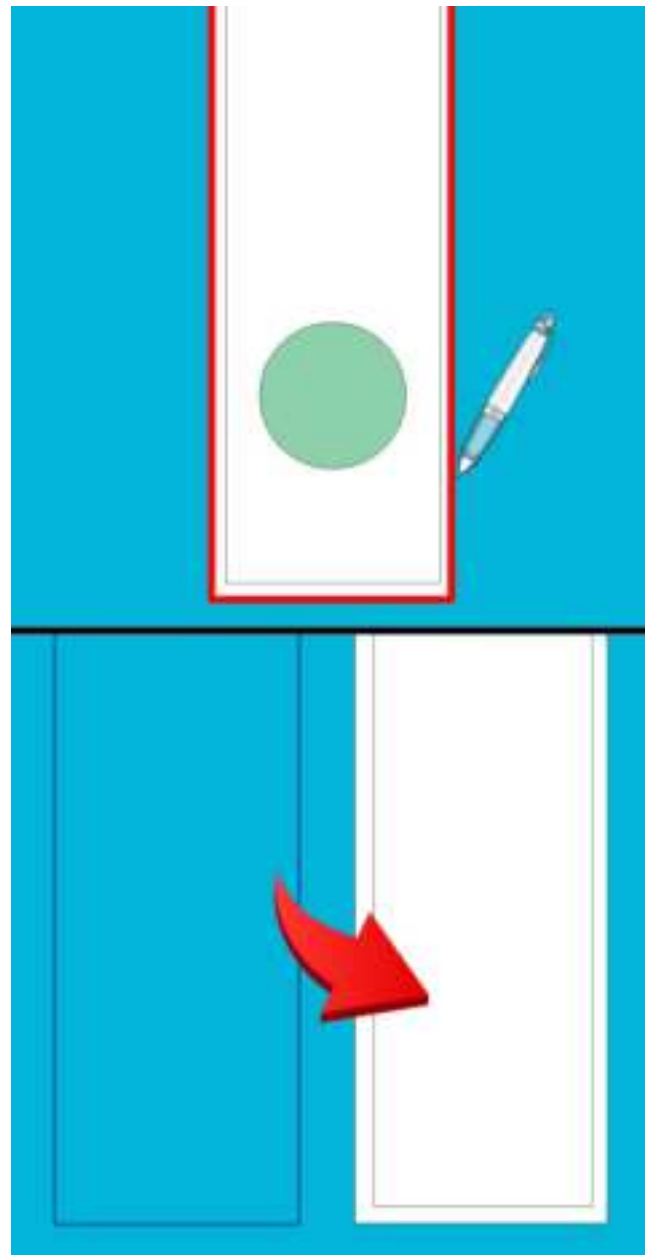
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

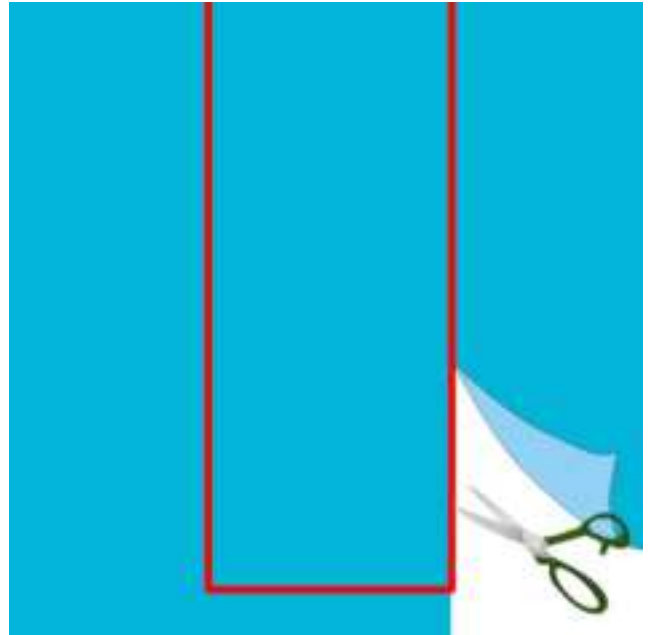


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

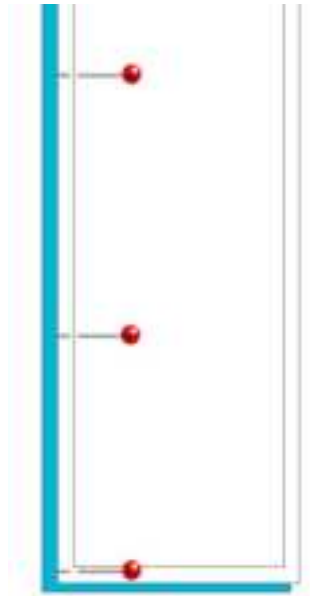


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



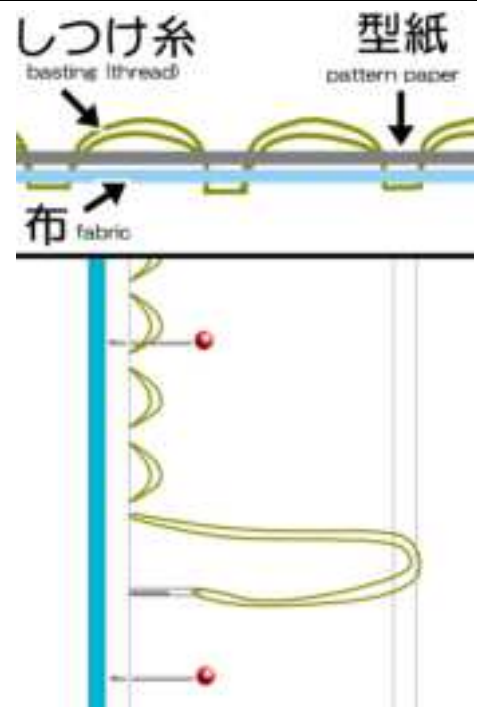
07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



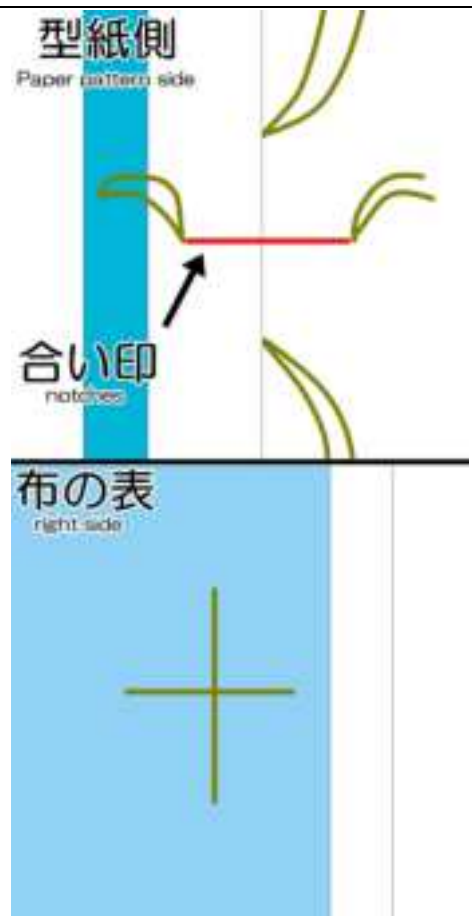
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。
A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



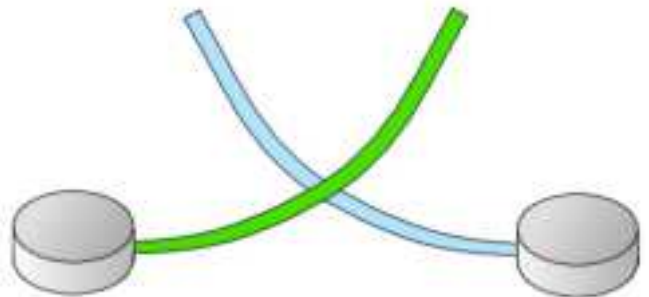
- ⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



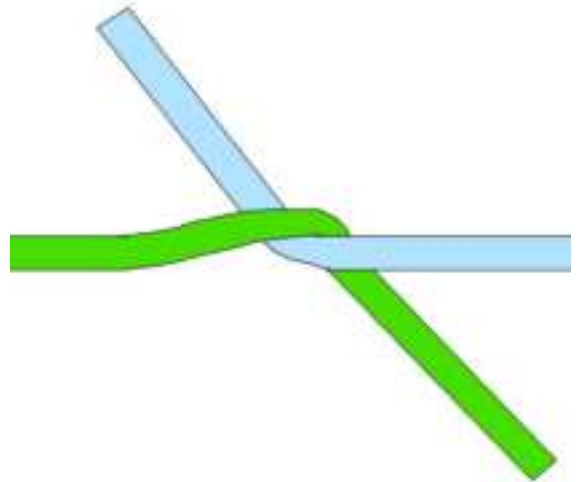
08. 帯締めを結ぶ。

- ① 帯締め用の紐 2 本の両端を、動かない様に重り等で固定する。

〔紐が動かなければ良いので、重りはなんでも OK。〕



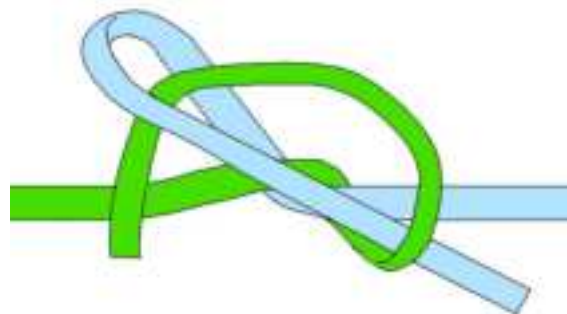
- ② 左の紐が下、右の紐が上になる様に結ぶ。



③ 上の紐を下へ折り返し、中心を押さえる。



④ 下の紐を、上の紐の輪に通す。
〔③で押さえた中心はそのまま動かさない。〕



⑤ 紐の両端を引き、形を整える。

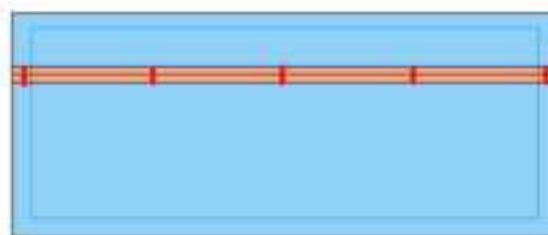


09. 帯本体と一重太鼓に接着芯を貼る。

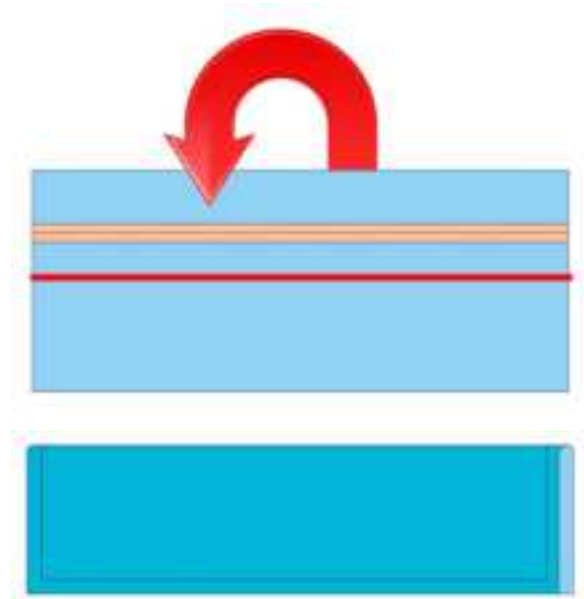
〔アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。
厚手の生地（人間用の帯など）の場合は、
接着芯は不要な事もある。〕



10. 帯締めを帯本体に固定する。



11. 表が内側になる様に帯本体を折る。



12. 開き止まりまで縫う。



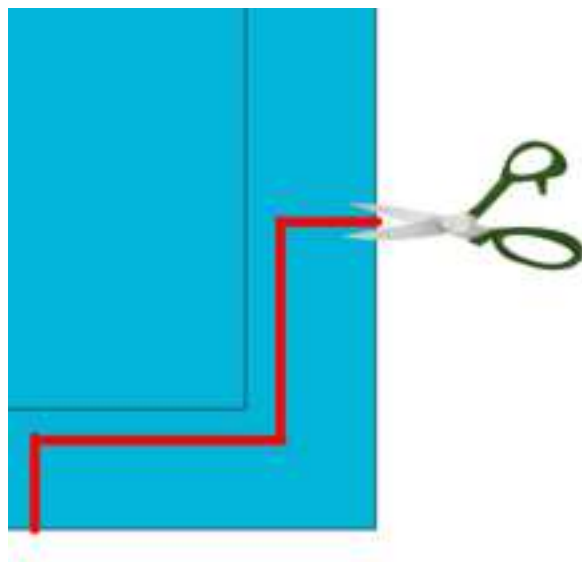
13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



14. 角をカットする。

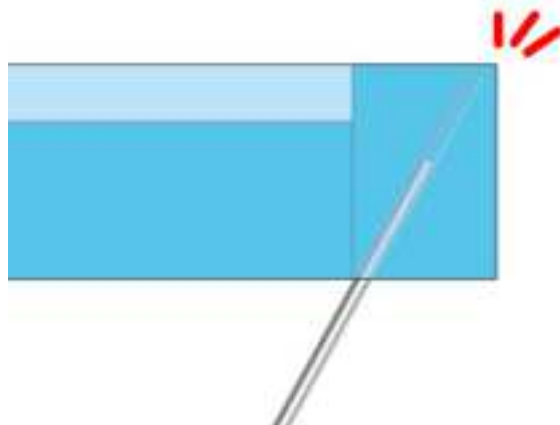
〔 反対側も同じようにカットする。〕



15. 表に返して、太い針の“糸を通す方”

で角を優しく押し出す。

〔 反対側も同じように整える。〕

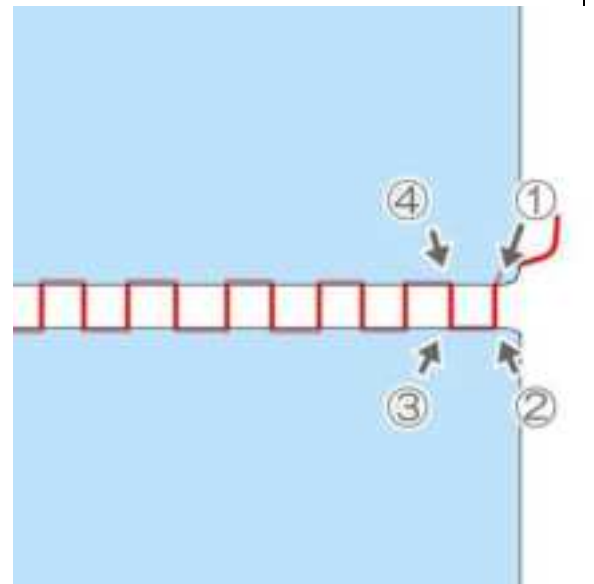


16. 開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

〔 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが違う等のトラブルが起き辛い。〕





17. アイロンを掛ける。



18. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。

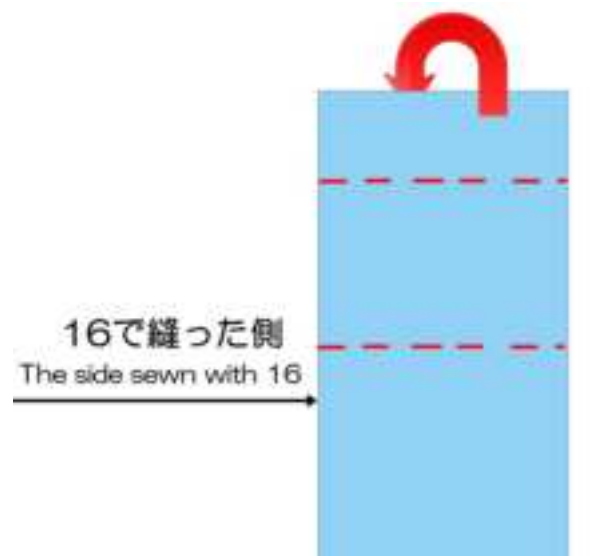


19. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。

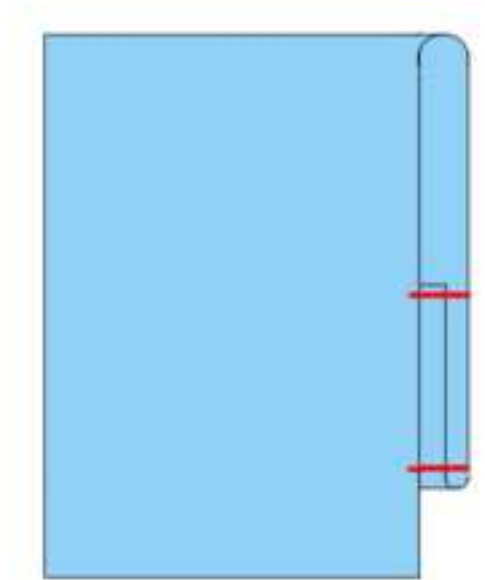


20. 一重太鼓も 11~17 まで同じように縫う。

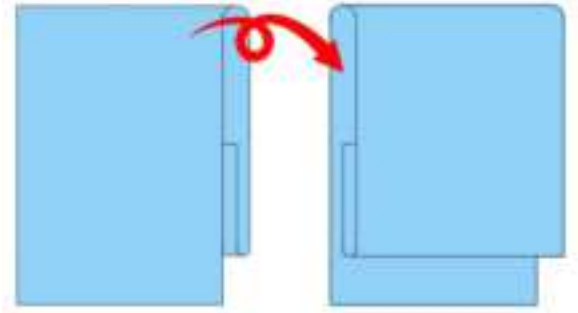
21. ①、②の順に山折にする。



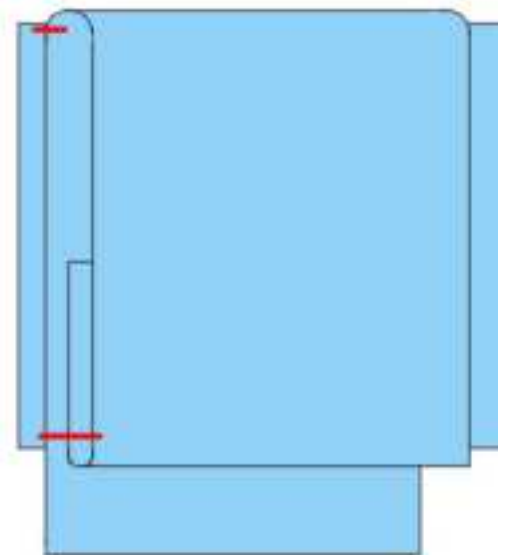
- 22.重なっているところを縫って固定する。
〔反対側も同じように縫う。〕



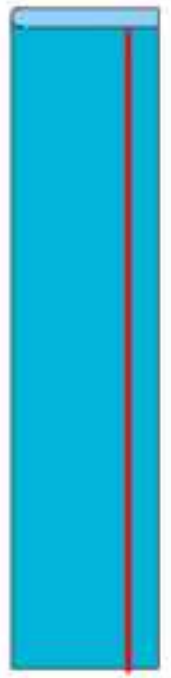
- 23.一重太鼓をひっくり返す。



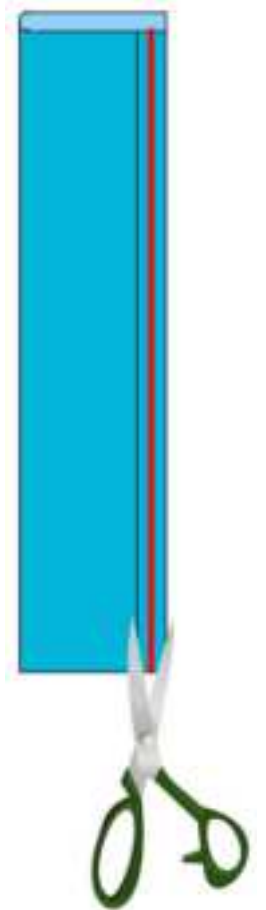
- 24.帯本体に一重太鼓を縫い付ける。
〔反対側も同じように縫う。〕



25. 帯揚げを表が内側になる様に折り、出来上がり線を縫う。

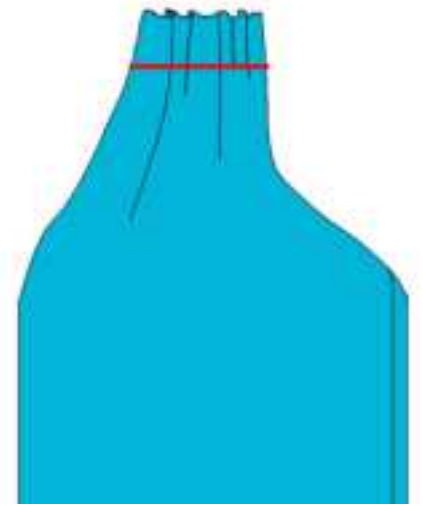
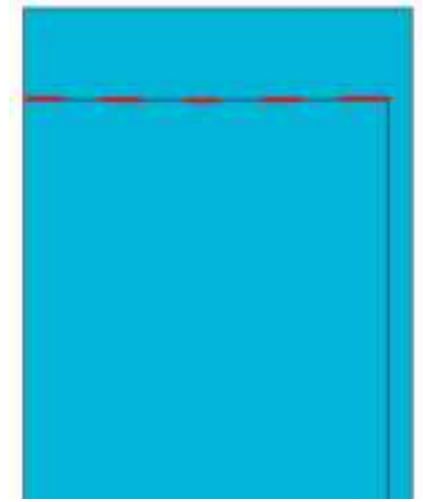


26. 縫い代を半分までカットする。



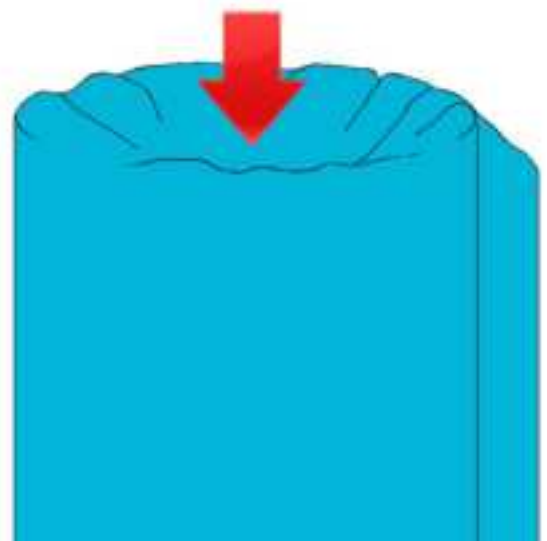
27. 片方の端を2~3mmの間隔で、
並縫いをして最後に糸を引っ張る。

〔並縫い：基本的手縫いの縫い方。
表と裏両方とも同じ目の間隔で縫う。〕



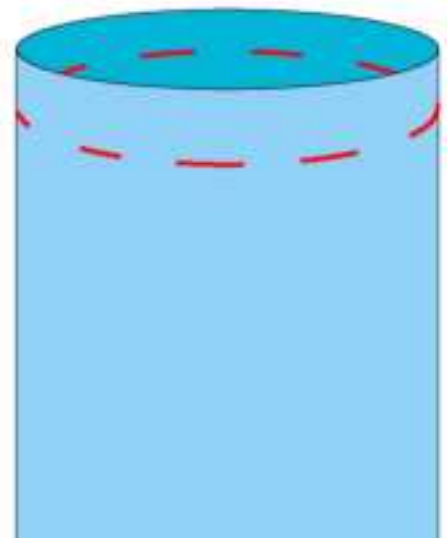
28. 縫ったところを凹ませて、
菜箸や竹串の背などで表に返す。

〔ループ返しやループターナーという、ひっくり返す
道具も売っているのでそちらもおすすめ。〕

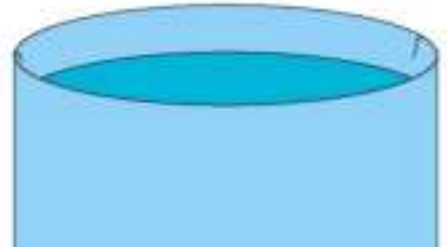




-
29. 残りの端を一周、並縫いをする。
[糸は切らない。]



30. 縫い代を内側に折ってから、糸を引っ張って玉止めをする。



お疲れ様でした！